

糖尿病研究のための実験動物用血糖測定システム

【試験研究用機器・試薬】

●グルコース・パイロットの外見と部位の役割

●グルコース・パイロットのディスプレイ表示



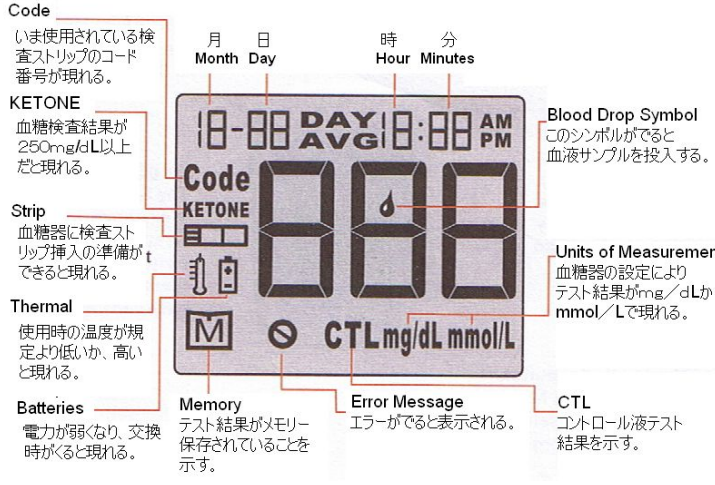
1. **ディスプレイ**
測定結果はここに表示されます。
旧モデルと比較して、数字とアイコン表示がより大きく読みやすくなりました。

2. **M ボタン**
M(モード)は、本体の ON および OFF に使用されモードと機能の切換スイッチになります。

3. **S ボタン**
S(選択/セットボタン)は、記録の選択と検査ストリップのコードを設定するためのものです。

4. **検査ストリップ挿入口**
ここへ検査ストリップの先端が丸い方を上向きにして挿入してください。

サイズ: 8.1 x 5.8 x 2.0cm
重さ: 72 グラム(電池込み)



Code
いま使用されている検査ストリップのコード番号が現れる。

Month Day / **Hour Minutes**
月 日 / 時 分

KETONE
血糖検査結果が 250mg/dL 以上だと現れる。

Strip
血糖器に検査ストリップ挿入の準備ができると現れる。

Thermal
使用時の温度が規定より低いか、高いと現れる。

Batteries
電力が弱くなり、交換時がくると現れる。

Memory
テスト結果がメモリー保存されていることを示す。

Error Message
エラーがでると表示される。





Blood Drop Symbol
このシンボルがでると血液サンプルを投入する。

Units of Measurement
血糖器の設定によりテスト結果が mg/dL か mmol/L で現れる。

CTL
コントロール液テスト結果を示す。

システム構成アイテム(GP-01): 1. メーター本体、2. 検査ストリップ、3. コントロール液、4. ランセット、5. ランセットホルダー 6. 説明書

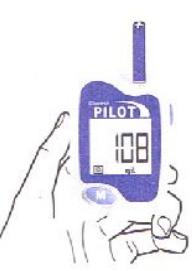
●検査ストリップのコード入力方法

<p>①検査ストリップの挿入</p>  <p>検査ストリップを挿入すると、自動的に電源が ON になります。ストリップのアイコンと"CH"の表示が数秒表示された後、検査ストリップのコード番号が表示されます。</p>	<p>②コード番号の確認</p>  <p>ディスプレイに表示されている番号と検査ストリップのバイアル上に記載されている番号とが一致しているかどうかを確認してください。</p>	<p>③コード番号の設定</p>  <p>コード番号が一致していない場合には S ボタンを押して、バイアル上の番号とディスプレイ上の番号一致させてください。</p>	<p>④コード設定完了/測定準備完了</p>  <p>コードを一致させて数秒待ちますと、上記の様な液滴のアイコンが点滅し始めます。この表示が測定スタンバイの状態になります。</p>
--	--	--	---

測定原理は酵素 GOD(グルコース酸化酵素)を使用した電極法です。

●血糖測定方法

●コントロール液テスト

<p>①サンプルの添加</p>  <p>動物の血液</p> <p>本体が測定スタンバイの状態であることを確認してください。血液サンプルを検査ストリップのウェルに載せると、自動的に測定が開始されます。</p>	<p>②測定結果の表示</p>  <p>測定開始後 5 秒後に、結果がディスプレイに表示されます。測定結果は自動的に本体のメモリーへ保存されます。(最大 350 測定分)</p>
--	--

本体に付属しているコントロール液は、グルコース・パイロット本体と検査ストリップが正しく動作しているかを確認する為に使用します。

テストを行う場合には、検査ストリップを本体に挿入し、コントロール液 1 滴を非吸収性の面に滴下し、検査ストリップ先端のウェルに接触させます。

測定結果が検査ストリップ容器上に記載されている範囲であれば正常に動作しています。

【ご注意】

- コントロール液を使用する際は最初の 1 滴分を破棄してご使用ください。
- メーターに挿入された検査ストリップにはコントロール液をバイアルから直接接触させないでください。
- 有効期限内のコントロール液を用いたにも係らず、異常な測定結果が得られる場合は故障が考えられますので、販売店までご相談ください。

◎メモリーモード呼び出し

◎14日平均値(28測定分)

◎30日平均値(128測定分)

◎過去の測定結果の確認



グルコース・パイロット本体には、過去

350回分の測定結果を、日付、時間とともに保存することができます。

グルコース・パイロットの電源がOFFの状態、Mボタンを押してください。

14日平均値は自動的に表れます。(注:この機能は血糖値の14日平均値【28測定分】をみるために使用されます)

その後に、30日平均値が表れます。(注:この機能は血糖値30日平均値【128測定分】をみるために使用されます)

Sボタンを押すと、過去350回分の測定結果を個別に確認いただけます。“End”は最後の結果が出た後に表示され、自動的に電源OFFになります。

●ディスプレイ・メッセージの意味および対応

表示	意味	対応方法	表示	意味	対応方法	表示	意味	対応方法
	本体が正常動作している。(電源ON時)	表示されない場合、お問合せ下さい。		血糖値が600mg/dL以上です。	特に何もする必要はございません。		電池が弱い。この時点でも50テスト可。	電池を交換してください。
	検査ストリップをチェックしている。	サンプルの添加はお待ちください。		このテスト結果はケトン測定を要求。	ケトン・レベルを測る。		エラー・メッセージ。電圧が限度以下。	電池を交換してください。
	コード番号表示。	コード入力を参照してください。		メモリーに保存されている測定結果。	特に何もする必要はございません。		エラー。キャンセルが未終了。	お問合せ下さい。
	血糖測定のスランバイ状態です。	検査ストリップにサンプルを添加する。		過去14日分の平均値。	特に何もする必要はございません。		エラー。使用済み検査ストリップによる。	新しい検査ストリップをご使用下さい。
	コントロール液の受付スタンバイ状態です。	検査ストリップにコントロール液を添加する。		過去30日分の平均値。	特に何もする必要はございません。		エラー。メモリー・ユニットによる。	お問合せ下さい。
	結果まで5秒間のカウンタウダウン。	そのままお待ちください。		メモリーに測定結果は保存されていません	特に何もする必要はございません。		エラー。測定環境が10℃以下。	10℃以上の環境でテストして下さい。
	血糖値が20mg/dL以下です。	特に何もする必要はございません。		メモリーに保存の測定結果の終了。	特に何もする必要はございません。		エラー。測定環境が40℃以上。	40℃以下の環境でテストして下さい。

●グルコース・パイロット 日付・時計・表示単位・メモリー消去の設定方法

1. 本体の電源がOFFの状態、Sボタンを押してください。日付・時刻等の設定モードになります。
2. 【西暦】末尾2桁を設定します。Sボタンを押して設定してください。設定後はSボタンを押してください。
3. 【月・日】Mボタンを押して設定します。個々の設定が終わりましたら、Sボタンを押してください。
4. 【時・分】Mボタンを押して設定します。個々の設定が終わりましたら、Sボタンを押してください。
5. 【表示単位】Mボタンを押して(mg/dL または mmol/L)設定します。設定後、Sボタンを押してください。
6. 【メモリー】本体に保存された測定結果(メモリー)を消去できます。“DEL”の文字が表示されている時にMボタンを押すとメモリー消去、Sボタンを押すと設定モード終了になります。

	エラー。テスト中にストリップの移動で。	指示書に従い再テストして下さい。
--	---------------------	------------------

(重要) 検査ストリップ
 ・検体は動物の全鮮血のみです。
 ・開栓後3ヶ月以内に使用して下さい。
 ・冷蔵・冷凍保存しないで下さい。
 ・未使用の検査ストリップはバイアルに格納して下さい。